

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	現在まで玄関は拘束とみなして施錠してなかった。不穏時など利用者さんが屋外に出る危険性もあったので。	外部からの防犯などの安全面を考慮し施錠を試みたい。	家族、行政とも相談し、まずは利用者さんの見守りを強化し施錠はあくまでも防犯の為に実施する。	3か月
2	10	面会などできない状態が続き、利用者さんの中には日々家族のことを気にかけて、不眠になる方もおられる。ひいては帰宅願望が激しくなり不穏になる。	電話や手紙などで連絡する機会を増やす。	受診後の連絡や、運営推進会議の後にはその都度報告しているがもっと回数をふやし個々の心身の状態を把握して直接会話する機会を設ける。	3か月
3	36	排泄誘導の際は尿意、便意の無い方を主と考えつい大きな声で声がけしてしまう。	あくまでも人生の先輩と尊重し、個々のプライバシーを尊重する。	個々の耳元で声がけし、身振りなどで排泄を促すよう共有したケアで個々の尊厳を図る。	3か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。